

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	令和元年度
------	-------------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認		
1.	維持管理業務	1
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
2.	運營業務	6
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	13
II. サービスの質の評価		14
1.	維持管理業務	
2.	運營業務	
3.	自主事業	
4.	総合評価	
III. サービスの安定性評価（財務状況）		15
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
IV. 総合評価		17
1.	目標	
2.	評価結果	

※必要に応じて項目を追加・削除する。

県立博物館・美術館 指定管理者 モニタリングシート

施設名称	沖縄県立博物館・美術館	対象年度	令和元年度
指定管理者	一般財団法人 沖縄美ら島財団 指定期間：平成28年4月～令和3年3月	所管課	文化観光スポーツ部 文化振興課

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者にOP印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>清掃と衛生管理の徹底を図り誰もが快適に利用できる施設環境を整える</p> <p>①展示エリア (展示室等) ②収蔵エリア (収蔵庫等) ③教育普及エリア (実習室等) ④調査研究エリア (学芸員研究室等) ⑤管理エリア (エントランスホール等) ⑥その他 (廊下、階段等) ⑦屋外付帯施設 (駐車場、外周等)</p>			<p><日常清掃> ・施設の環境を維持し、快適な環境を保つため、日常清掃を計画的に実施。 ・開館中は、各トイレの巡回点検清掃を計画的に行い、各展示室のガラス部分の手アカ等の拭取り、館内に持ち込まれた土砂の清掃、汚れの除去等巡回清掃の強化を行い、お客様がいつでも快適に施設を利用できるよう心がけた。 ・コロナ感染症拡大防止策として、手すりやPCのタッチパネルなど、人が触れる箇所は清掃回数を増やすなどの対応を行った。</p> <p><定期清掃> ・各室のワックスの塗布、カーペット等のクリーニング、扉や手すりの清掃等を定期的に行った。 ・定期的に駐車場および外周の枯れ葉・ゴミ拾いを行い、景観維持に努めた。 ・IPM関連に基づき、月1回各展示室、収蔵庫等及びふれあい体験室の立体面の除塵作業を博物館・美術館学芸員の立ち会いのもと行った。</p>	<p>指定管理者及び委託先の清掃担当者にヒアリングを実施するとともに、作業計画書、清掃点検表及び清掃業務日報等の確認を行った。</p>	<p>仕様書どおり毎日(場所により週2回)の日常清掃と、年3～6回の定期清掃が適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施された。</p>

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 施設管理 ①空調和設備 ②消防設備 ③昇降機設備 ④自家用電気工作物 ⑤駐車場装置 ⑥自動扉開閉装置 ⑦電熱式ユニット型加湿器 ⑧植栽 2. 講堂等設備 ①映写機 ②音響・映像設備 ③舞台機構設備		○	施設の維持管理にあたり、年間計画に基づき、定期保守点検を行い機器等のトラブルの無いように努めた。 ・施設設備、備品等の的確な保守点検と故障等に対する、早期発見・対応により適切な施設運営を行った。	委託先へのヒアリングを実施するとともに、中央監視設備日報、業務実施工程表及び設備点検日誌(各設備ごと)等の確認を行った。	仕様書や標準点検周期、関連法令に基づき、適切に実施されていた。	良好に実施された。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
1. 警備業務 ① 出入り管理業務 ② 防災監視業務 ③ 開館・閉館業務 ④ 全館巡回業務 ⑤ 非常時の応急処置 2. 駐車場管理業務 ① 駐車場管理業務			<p>○</p> <p>〈警備業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常駐の警備員による館内外の定期巡回を行い、火災、事故、盗難等の発生を未然に防ぐため、監視を強化した。 ・通用口での入退館者のチェックの強化を図るとともに記録の厳正化を徹底した。 ・付帯設備の日常点検を行い、不備箇所の早期発見に努めた。 ・不審者、不正行為者、徘徊者等に対応した。 ・鍵の貸し出しに細心の注意を払い、鍵借用簿の管理を徹底した。 ・館内外における拾得物は、総合案内に速やかに届けるとともに夜間・休館日も巡回監視に努めた。 <p>〈駐車場業務〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場及び周辺では人身の安全を第一に監視に努めた。 ・管理用機器での監視に努めた。 ・駐車場におけるライト点灯車両、窓空き車両、故障車両等に適宜対応した。 ・春、秋の団体見学集中期間、バス駐車場の誘導を効率的に対応した。 	<p>指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務月間予定表、鍵借用簿、警備日報、警報発令履歴の確認を行った。</p>	<p>仕様書どおり昼間3～4名(駐車場管理含む)、夜間2名が配置されていた。また、警備日報も詳細に記録されており、適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施された。</p>

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施する。	○		指定管理者として、各施設の修繕箇所などの状況を把握し、迅速かつ適切な修繕を行い、適切な維持管理を行った。施設の修繕補修は、1件につき20万円(消費税及び地方消費税含む)未満のものについては指定管理者の責任の範囲において実施した。 (修繕例) 煙感知器取替業務 多機能トイレ部品取替	施設の機能維持、安全管理のための修繕が実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
必要な機器については県と相談し整備する。	○		身障者用便座(1台) 緊急時呼び出しプ ザー1式 I Pad mini(1台)	現地にて物品の確認を行った。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>事件・事故・災害等のリスクを予め想定して対策と訓練を行い、お客様と資料の安全確保に努めます。</p>	○	○	<p>・火災、事故、盗難等の発生を未然に防ぐため、館内外及び周辺の巡回監視を強化した。 ・付帯設備の日常点検を行い、不備箇所の早期発見に努めた。 ・不審者、不正行為者、徘徊者等に適正に対応した。 ・鍵の貸し出しに細心の注意を払い、鍵借用簿の管理を徹底した。 ・館内外における拾得物は、総合案内に速やかに届けるとともに夜間・休館日も巡回監視に努めた。 ・通用口での入退館者のチェック強化を図るとともに記録の厳正化を徹底した。 ・夜間時に部外者が敷地内にいる場合は速やかに退去させた。 ・夜間における防災体制を整備するとともに、夜間消防訓練を新に実施した。 ・全職員参加の消防訓練を実施し、職員の防災意識の向上及び初期消火技術の向上に努めた。</p>	<p>指定管理者及び委託先の警備担当にヒアリングを実施するとともに、勤務予定表、鍵借用簿、警備日報及び警備発令の確認を行った。</p>	<p>適切に実施されていた。</p>	<p>良好に実施された。</p>

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加・削除して記入して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

<p>1. 維持管理業務 取組改善案</p>	<p>前年度に引き続き適切な管理業務が実施された。今後も適正な施設の維持管理等に努める必要がある。</p>
----------------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R1年度)の主な取組改善案を記入してください。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

	H30度実績	事業計画 (目標値)	R1年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
利用者数	有料入館者数	248,071人	162,320人	162,603人	65.5%	100.2%	合計利用者数は開館以来最高を記録した。有料入館者数の前年比減は自主企画展の実施回数が減ったためである。
	無料入館者数	256,823人	341,925人	414,925人	161.6%	121.3%	
	計	504,894人	504,245人	577,528人	114.4%	114.5%	

評価(①利用状況)

S

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S: 110%以上

A: 100%以上、110%未満

B: 80%以上、100%未満

C: 80%未満

2) 施設稼働率

準備片付けも含める

	H30実績	事業計画 (目標値)	R1実績	整合性の検証		現状分析 ・課題	
				前年比	計画比		
全館	299日	298日	299日	100.0%	100.3%	展示準備、片付け、開催期間を含めた稼働率からは概ね良好に実施された。	
博物館	常設展示室	299日	298日	299日	100.0%		100.3%
	企画展示室	299日	298日	299日	100.0%		100.3%
	特別展示室	299日	298日	299日	100.0%		100.3%
美術館	コレクション展	299日	298日	299日	100.0%		100.3%
	企画展示室1	257日	298日	293日	114.0%		98.3%
	企画展示室2	256日	298日	293日	114.5%	98.3%	
県民ギャラリー1	243日	210日	220日	90.5%	104.8%	1月までは前年を上回っていたが、2月以降に新型コロナの影響でキャンセルが数件発生し、前年を下回った。	
県民ギャラリー2	205日	210日	198日	96.6%	94.3%		
県民ギャラリー3	178日	210日	170日	95.5%	81.0%		

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

B

97.8%

【評価基準(①利用状況)】

目標値に対する達成率

S: 110%以上

A: 100%以上、110%未満

B: 80%以上、100%未満

C: 80%未満

参考) 3年間の利用者数

		平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	有料入館者数	255,831人	248,071人	162,603人
	無料入館者数 (展示室以外の無料者も含む)	252,991人	256,823人	414,925人
	合計	508,822人	504,894人	577,528人

参考) 3年間の施設稼働率

稼働日数(稼働率)		平成29年度	平成30年度	令和元年度
全館		300日(100%)	299日(100%)	299日(100%)
博物館	常設展示室	300日(100%)	299日(100%)	299日(100%)
	企画展示室	244日(80.5%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む	299日(100%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む	299日(100%) ※準備、片付けを含む
	特別展示室	289日(95.4%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む	299日(100%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む	299日(100%) ※準備、片付けを含む
美術館	コレクション展	300日(100%)	299日(100%)	299日(100%)
	企画展示室1	281日(92.7%)	257日(86.0%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む	293日(98.0%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む
	企画展示室2	281日(92.7%)	256日(85.6%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む	293日(98.0%) ※準備、片付け、 展示準備調整期間を含む
県民ギャラリー1		256日(84.5%)	243日(81%)	220日(73.8%)
県民ギャラリー2		223日(73.6%)	205日(68.3%)	198日(66.4%)
県民ギャラリー3		211日(69.6%)	178日(59.3%)	170日(57%)

参考) 3年間の県外入館者(観光客)数 ※推定値

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
レンタカー (台数×2.5=人数)	17,361人	20,690人	22,849人	
タクシー (台数×2.5=人数)	9,897人	11,115人	9,779人	
モノレール	12,187人	10,132人	6,446人	モノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を観光客とみなして算出
県外団体	679人	956人	534人	
県外修学旅行	4,112人	3,978人	14,155人	
国外団体	1,338人	1,132人	847人	
合計(a)	45,574人	48,003人	54,610人	
年間総入館者数(b)	508,822人	504,894人	577,528人	
入館者数に占める割合 (a)/(b)	9.0%	9.5%	9.5%	
年間入城観光客数(C)	9,579,900人	10,004,300人	9,469,200人	
入城観光客数に占める割合 (a)/(c)	0.48%	0.48%	0.58%	

※レンタカー、タクシーによる来館及びモノレール1日利用券を提示し、割引を受けた来館者を県外からの来館者(観光客)とみなして算

3) 展覧会入場者実績

	内容	事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率%)	現状分析 ・課題
博物館入 場者数 (人)	常設展 (企画：県) (広報：指)	有料:71,000人	75,752人	106.7%	美術館の企画展については、自主企画展「みんなのレオ・レオーニ展」が新型コロナの影響で中断となったため計画を下回った。その他の展覧会については概ね計画を上回った。
		無料:29,000人	30,932人	106.7%	
	企画展・特別展 (企画：県5本 貸館：1本 広報：指)	企画展 有料:8,416人	新収蔵展：(県) 3,253人 台湾－黒潮でつながる隣ジ マー：(県) 6,260人	123.4%	
			大嶺薫展：(県) 876人 小計:10,389人		
		特別展 有料:7,257人	グスク・ぐすく・城－動乱 の時代に生み出された遺産 －：(県) 8,782人 手わざ 琉球王国のレガ シー：(県) 3,771人	173.0%	
			小計:12,553人		
	有料合計:15,673人	合計:22,942人	146.4%		
	企画展 無料:1,884人	新収蔵展：(県) 952人 台湾－黒潮でつながる隣ジ マー：(県) 1,659人	159.2%		
		大嶺薫展：(県) 389人 小計:3,000人			
		特別展 無料:1,743人	グスク・ぐすく・城－動乱 の時代に生み出された遺産 －：(県) 850人 手わざ 琉球王国のレガ シー：(県) 780人 小計:1,630人	93.5%	
	「サメ肌展」 「在りし日の首里城」 (講堂前ホワイエで開 催)	無料:5,000人	サメ肌展：(指)16,090人	321.8%	
		目標設定なし	在りし日の首里城：(指)4,478人	—	
		無料合計:8,627人	合計:25,198人	292.1%	
博物館合計	合計:124,300人	合計:154,824人	124.6%		

美術館入 場者数 (人)	コレクション展 (企画展：県) (広報：指)	有料:18,800人	32,096人	170.7%
		無料:11,200人	12,092人	108.0%
	企画展 (企画：指2本、県2 本) (広報：指)	有料:56,847人	ホキ美術館名品展：(指) 24,873人 上条文穂と波多野泉展： (県) 1,874人 作家と現在：(県) 2,452人 みんなのレオニ展：(指) 2,614人 有料小計:31,813人	56.0%
		無料:6,153人	ホキ美術館名品展：(指) 1,226人 上条文穂と波多野泉展： (県) 1,011人 作家と現在：(県) 552人 みんなのレオニ展：(指) 477人 無料小計:3,266人	53.1%
	美術館合計	合計:93,000人	合計:79,267人	85.2%
	217,300人	234,091人	107.7%	

(2) 受付・接客

事業計画	実施主体 (担当者以外)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>①来館者に接する 発券、もぎり、総合 案内のスタッフに、 館の状況を総合的 に把握するリーダー を配置し、臨機応変 な来館者サービス を行います。</p> <p>②海外からのお客 様も安心して快適に 利用できる環境づく りを推進するため、 英語での対応が可 能なスタッフを配置 し、ピクトグラムを 活用した「コミュニ ケーション支援ボ ード」を整備しま す。</p>	○	○	<p>来館者サービスの向上を目指し、神縄美ら島財団スタッフ、委託業者等に所属するバイトスタッフの全体研修を実施した。「IPMの取組」・「非常時の避難誘導とABDの使用法」・「マニュアル研修」・「グループディスカッション」を行った。</p> <p>来館者サービスの業務に携わるスタッフの意識向上と情報共有を図るとともに、リーダーを配置し、サービスの向上に努めた。</p> <p>多言語対応のピクトグラムを作成し、各配置場所へ設置を行った。</p> <p>その他、企画展の開催前には展示交流員を対象とした研修を実施し、展示概要、監視業務を行う上での注意事項などの研修会を行った。</p>	<p>適切なサービスが行われた。</p> <p>アンケートでは「スタッフの対応」に対する満足度が高い。「非常に満足」、「やや満足」の割合が約88.8%。「非常に不満」、「やや不満」が3.4%。</p> <p>※アンケート結果の％は、スタッフ接客対応4項目(①総合案内、②チケット販売、③展示室、④駐車場)の平均。</p>	<p>事業計画どおり適切に実施している。</p>	<p>全体として、88%を超えているので、引き続き維持できるよう努める必要がある。</p> <p>アンケートの要望等にも対応しつつ、引き続き質の高いサービスの提供に努める必要がある。</p> <p>①総合案内係 87.7% ②チケット販売係 97.5% ③展示室係 87.1% ④駐車場係 95.8%</p>

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>県民・観光客に「選ばれる」ために、積極的な誘客・広報活動を行います。</p> <p>①「県内外広報ネットワーク」を活用した誘客につながる情報発信。</p> <p>国内外での観光プロモーションや県内老人会への個別訪問、お客様の手元に本館の情報が直接届く「スマホアプリ」の活用まで、広域かつ緻密なネットワークを活かした広報・プロモーションの展開</p> <p>②国内外の観光客に「選ばれるため」の積極的な誘客・広報活動</p> <p>旅行社とタイアップした「ツアー等旅行商品」の造成や、修学旅行の誘致、周辺ホテル・商業施設と連携した誘客広報、県外観光客・海外観光客向けの誘致活動</p> <p>③質の高い広報を支える「豊富な人材」の活用</p> <p>沖縄美ら海水族館及び海洋博公園・首里城公園の広報・PR経験者を「企画広報事業部責任者」に配置し、当財団の実績豊富なデザイナーやIT技術者が、デザイン制作及びITを活用したPRをバックアップ</p>			<p>年間行事案内を1万5千部作成し、県内外の文化施設等へ配付した。</p> <p>展覧会チラシ・ポスターを県内の学校、図書館、文化施設等に配付した。</p> <p>季刊広報誌「おきみゆー通信」を発行した。</p> <p>懸垂幕を館正面壁面に設置し展覧会広報を行った。</p> <p>博物館常設展示室入口付近及び美術館企画ギャラリー入口付近、館外多目的広場にターボリンサインを設置した。</p> <p>沖縄美ら海水族館・首里城公園(2019年10月末まで)と連携した、トリップキャンペーンを実施し両施設からの誘客促進を図った。</p> <p>モノレール県庁前駅トラステッカー広告枠で、展覧会情報を告知した。またおもろまち駅改札出口付近に誘導看板設置した。</p> <p>新聞紙面に無料、有料広告の掲載(全63回)した。</p> <p>ニュース報道及びテレビコマーシャルによる広報(全56回)を行った。</p> <p>ラジオの無料告知及び有料コマーシャルによる広報を(全247回)行った。</p> <p>雑誌、機関紙等様々な媒体へ当館及び展覧会情報を露出(全83回)した。</p> <p>インターネットの無料広告サイトによる広報(全90回)を行った。</p>			

<p>観光客向けの誘客パンフレット3万部、外国人向けの誘客パンフレット(簡体字・韓国語)各1万部を印刷し、県内ホテルやレンタカー営業所等215か所に設置した。</p>	<p>月間報告及び各媒体への確認、指定管理者へのヒアリングにより実施。</p>	<p>概ね事業計画どおりに実施されていた。</p>	<p>様々な広報媒体を活用して館のPRが展開されていた。エントランスコンサートやスマートフォンアプリなど新たな取り組みも実施されている。SNSアカウントの拡充と活用によって各展覧会の告知が強化された。今後は更なるフォロワー数の獲得が課題である。</p>
<p>県内プレイガイド7か所で、展覧会前売り券を販売。観光客向けに沖縄ツーリストラウンジ・レンタカー営業所で博物館常設展、美術館コレクション展の前売り券販売を行った。</p>			
<p>Facebook、Instagramに加え11月から公式TwitterとLINEを開設し、展覧会情報等の発信を積極的に行った。</p>			
<p>屋外展示作品をめぐるスタンプラリーを実施し、7,867人が参加した。</p>			
<p>全ての展覧会が観覧できる一日利用券として「1DAY PASSPORT」を販売。15,661枚を販売した。</p>			
<p>台湾の有名ブロガー2組を起用し、台湾人向けのインフルエンサーマーケティングを実施した。</p>			
<p>おもろまち周辺施設と連携制作した「OMOROMACHI SHOPPING MAP」を1万部増刷し、モノレール駅等に設置した。</p>			
<p>スマートフォン音声アプリ「ON THE TRIP」にて、博物館常設展の音声ガイドを制作。3月20日よりサービスを開始した。</p>			
<p>県民や観光客に向けた集客事業として、「GW」「誕生祭」「旧正月」イベントや、美術館支援会happと連携しエントランスコンサートを実施し集客促進を図った。</p>			

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (担当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
本館の基本理念及び管理規則を遵守するとともに個人情報の保護を徹底し、公平・公正で開かれた館の運営を行います。	○		個人情報保護マニュアルに基づき運用を実施した。また、情報システム管理保守を適正に行った。	適切に実施されていた。	適切に実施されていた。	良好に実施された。

3. 自主事業

(1) 展覧会

事業計画	実施主体 (担当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
別添①にて取りまとめ						

(2) その他 (ミュージアムショップ、カフェ)

事業計画	実施主体 (担当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
利用者の利便性向上を図るため、公有財産の目的外使用を申請し、ミュージアムショップは沖縄美ら島財団の直営、カフェは委託して運営する。	○	○	ミュージアムショップ 【売上】 3,746万円 (H30年度4,736万円) 【購入客数】 24,129人 (H30年度22,132人) カフェ 【売上】2,409万円 (H30年度2,276万円) 【客数】23,089人 (H30年度22,803人)			ミュージアムショップの売上が前年度より1,200万円減となっているが、貸館のグッズ売上げ分が、手数料として計上処理されているため、経費削減努力もあり利益としては増となっている。今後も引き続き企画展と連動した魅力ある品揃えをするとともに、定番商品の強化が課題である。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	利用者数(入館者数)の合計は、計画値を上回っており、引き続き誘客に向けた取組みを実施する必要がある。施設稼働率については、県民ギャラリーが、前年度より稼働率が低下しているため、より稼働率が上がるよう取り組む必要がある。 令和元年度も自主事業による企画展や関連イベントを開催し、入館者数の増加につながっている。今後も誘客に繋がる自主事業の実施に取り組んでいく必要がある。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R1年度)の主な取組改善案を記入してください。

Ⅱ. サービスの質の評価

第三者評価について

総合アンケートを実施。

【総合アンケート】

回収期間：H31.4～R2.3

回収件数：2,443件

回収方法：正面玄関入口等に設置

※各アンケートの詳細は別添②参照

評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者 自己評価	現状分析・課題	
	H30評価	目標	R1評価			
維持管理業務	(満足度)91%(※1) ・満足33% ・やや満足58% ・やや不満7% ・不満2%	—	(満足度)87.2% ・満足 60.3% ・やや満足 28.9% ・どちらでもない 8.9% ・やや不満 2.5% ・不満 1.4% ※今回のアンケートから「どちらでもない」を含めています。 (改善要望) 「休憩用の椅子を増やして欲しい」「無料Wi-Fiを導入して欲しい」「調整中のモニターが多い」「駐車場がすぐに満車になる。」「英語のキャプションを用意して欲しい」などの意見があった。	A	大きな事故や災害などの発生もなく、業務仕様書、管理規則等に基づいて、適切に管理を行った。また、施設設備の保守点検や清掃を徹底し、安全に務めた。IPMにおいては、月例で館合同IPM会議を主催するなど積極的に活動した。また、案内板などについては、表示の統一を図り分かりやすく務めた。	満足度は高く、評価できる。改善要望については、県と定期的に開催している連絡調整会議などで協議しながら対応する必要がある。
運営業務	(満足度)95%(※1) ・満足40% ・やや満足55% ・やや不満4% ・不満1%	—	(満足度)88.8% ・満足 65.7% ・やや満足 33.1% ・どちらでもない 7.8% ・やや不満 1.9% ・不満 1.5% ※今回のアンケートから「どちらでもない」を含めています。 (改善要望) 「スタッフの私語が気になる。」「同じことを何度も注意される。」「子供を連れてるとジロジロみられる」などの指摘があった。	A	接客スタッフを対象に、来館者サービスの向上を目的とした研修会を実施。併せて現場スタッフ向けの緊急救命講習を消防署員を講師に招き接客スタッフの自己研鑽に努めた。また、企画展ごとの勉強会や改善点の共有を積極的に行い、スタッフの育成に努めてきた結果、大きなトラブルもなく、スムーズに対応することができた。	平均満足度は高く、評価できる。スタッフの対応については、概ね好意的な意見であったが、改善要望があった内容については、丁寧な接客対応に取り組むとともに、引き続き研修等の充実が望まれる。
展示	(満足度)93% ・満足53% ・やや満足40% ・やや不満5% ・不満2%	—	(満足度)84.3% ・満足 60.5% ・やや満足 23.8% ・どちらでもない 10.6% ・やや不満 3.0% ・不満 2.1% ※今回のアンケートから「どちらでもない」を含めています。 (改善要望) 「アニメや漫画の企画展をやって欲しい。」「刀などの日本の美術工芸品をみたい。」「料金表示を分かりやすくして欲しい。」などの意見があった。	A	県主催の企画展以外の空き期間を有効活用し、県民に文化と触れ合う機会を提供するため、今年は共催「ジブリ」の大博覧会が過去最高の176,704人を動員した。また、玉城朝薫作の組踊初演から300年を記念し「THE KUMIODORI300」を開催した。指定管理者主催の企画展では、「ホキ美術旗名品展」は26,099人を動員。しかしながら「みんなのレオ・レオーニ展」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会期中に一時休館余儀なくされたが、3,058人を動員した。	平均満足度は高く、評価できる。展示については、概ね好意的な意見であったが、改善要望があった内容については、可能な限り取り組むとともに、引き続き満足度の高い展示の充実が求められる必要がある。
総合評価 (各評価項目の平均)	平均満足度 93.0%	—	平均満足度 86.7%	評価 (②満足度) A	各項目とも高評価の満足度を得ることができている。アンケートの要望等にも対応しつつ、引き続き質の高いサービスの提供に努める必要がある。	

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

※1:満足度とは、回答選択肢のうち中位を超える割合(5段階評価の場合上位2段階の割合、4段階評価の場合上位2段階の割合、3段階評価の場合上位1段階の割合)ただし、奇数評価の場合、中央に集まる傾向があること、「普通」評価は改善に繋げる観点では価値が乏しいことから、4段階評価が望ましい。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度
S : 90%以上
A : 80%以上、90%未満
B : 70%以上、80%未満
C : 70%未満

Ⅱ. サービスの質の評価 取組改善案	前年度に引き続き、満足度の高い施設サービス、展示の充実が求められる必要がある。
-----------------------	---

※Ⅱ. サービスの質の評価の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

III. サービスの安定性評価(財務状況)

1. 事業収支

(1) 収入

収入項目		H30実績	R1事業計画	R1実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
利用料金収入	博物館観覧料	33,020,052	39,020,000	44,748,779	135.5%	114.7%	
	美術館観覧料	10,417,532	10,305,000	12,555,231	120.5%	121.8%	
	その他(年間パスポート等収入)	2,449,700	3,000,000	2,563,100	104.6%	85.4%	
	施設使用料	26,309,234	49,087,000	54,497,952	207.1%	111.0%	
指定管理料		302,470,000	305,271,000	305,271,000	100.9%	100.0%	
自主事業収入		132,561,284	85,173,000	57,160,623	43.1%	67.1%	
雑収益		2,908,510	1,710,000	8,400,671	288.8%	491.3%	
合計(A)		510,136,312	493,566,000	485,197,356	95.1%	98.3%	
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自主企画展が休止したため自主事業収入や年間パスポート等収入は計画値を下回っているが、その他の項目は計画値を上回った。令和元年度の収入については、計画額より8,368,644円の減額となった。</p>							

(2) 支出

支出項目	H30実績	R1事業計画	R1実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項	
人件費	85,025,196	84,771,000	103,664,192	121.9%	122.3%	監視員等を委託から直接雇用へ変更による増	
事務費	13,353,288	12,757,000	14,211,660	106.4%	111.4%		
施設管理費 ※委託費	204,928,703	184,858,000	177,921,891	86.8%	96.2%		
光熱水費	124,913,341	112,000,000	129,157,021	103.4%	115.3%		
修繕費	1,967,760	1,200,000	1,475,660	75.0%	123.0%		
集客対策費	9,365,352	12,210,000	12,182,421	130.1%	99.8%		
教育普及事業費	11,866,080	13,000,000	12,718,158	107.2%	97.8%		
諸経費	3,590,483	4,252,000	4,447,109	123.9%	104.6%		
自主事業費支出	111,047,956	77,945,000	53,267,225	48.0%	68.3%		
雑費	841,077	400,000	1,038,643	123.5%	259.7%		
合計(B)	566,899,236	503,393,000	510,083,780	90.0%	101.3%		
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>光熱水費や修繕費が計画を大幅に上回っているため、計画策定の際の積算を実情に即したものになるようにする必要がある。</p>							

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 経営分析指標

評価指標	H30実績	R1事業計画	R1実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-56,762,924 円	-9,827,000 円	-24,886,424 円	44%	253%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	-11.1%	-2.0%	-5.1%	46%	256%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	14.2%	20.5%	23.6%	167%	115%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	15.0%	16.8%	20.3%	136%	121%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	36.1%	36.7%	34.9%	96%	95%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,122.8円	998.3円	883.2円	79%	88%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	599.1円	605.4円	528.6円	88%	87%	
<p>〈現状分析・課題〉</p> <p>事業収支は平成30年度に比べ赤字幅は縮小しているものの高い水準となっている。事業収支や収益率が計画値及び実績値を上回っているため、その分析を詳細に行い、具体的対策を講じる必要がある。</p>						

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

評価(③財務状況)

C

【評価基準 (③財務状況)】

収益率 (事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

Ⅲ. サービスの安定性評価 (財務状況) 取組改善案	平成30年度に引き続き、事業収支が大幅赤字となっている。光熱水費については、国の減額制度等を活用し支出を抑えるなどの取組みを実施するとともに、その他の経費についても、費用対効果を含め検証に努める必要がある。
----------------------------------	---

※Ⅲ. サービスの安定性評価(財務状況)の各項目の「現状分析・課題」等を経過して、現年度(H31年度)の主な取組改善案を記入してください。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、果、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置が確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する自治体の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	備考	
成果指標	①利用状況	利用者数	530,233人	530,233人	530,233人	530,233人	R2年度事業計画目標値
	②満足度	満足度	90%	90%	90%	90%	アンケート集計の【総合満足度】を参考
財務指標	③財務状況	収益率	0.15%	0.15%	0.15%	0.15%	R2年度事業計画目標値

2. 評価結果

評価項目	評価指標	H30実績	事業計画 (目標値)	R1実績	R1実績		現状分析・課題	評価	取組改善案	R2(H32) 目標値	
					前年比	計画比					
成果指標	①利用状況	利用者数	504,894人	504,245人	577,528人	114%	115%	2月以降は新型コロナウイルスの影響により利用者数が落ち込んだものの、年間合計は目標を上回り過去最高を記録した。	S (20点)	新型コロナの影響は長期間続くと考えられる。今後は「新しい生活様式」に則った安心安全な環境整備が前提となり、利用者数目標値についても見直しが必要である。	530,233
	②満足度	満足度	93%	90%	87%	94%	97%	今回は、アンケートの集計内容を改えたため満足度が下回った。	A (10点)	各質問項目については、高い評価を受けているので引き続き良い来館者サービスを実施していく。	90%
財務指標	③財務状況	収益率	-11.1%	-2.0%	-5.1%	46%	255%	H28から一貫して高騰を続ける光熱水費がR1も増加し、収支を大きく悪化させた。新型コロナの影響で自主企画費が中絶を余儀なくされ、自主事業収入が減少した。	C (-5点)	想定外の光熱水費の高騰や疫病の流行など、指定管理者にとっては不可抗力の要因にもかかわらず、指定管理者が多額の赤字負担を強いられている現状があり、県による対策が不可欠である。	-11.8%
活動指標	④重点取組事項	来館者増を重点目標とし、季節催事などを実施していく。 例：誕生祭(11月)+旧正月(2月)	17311人	44200人	59204人	342%	134%	エントランスコンサート(計20回)や琉球伝統芸能公演(計13回)など年間を通してイベントを積極的に開催し、県民の皆さまが気軽に足を運ぶきっかけを創出できた。	S (10点)	今後も多様なイベント等を企画し、幅広い層のお客様に満足いただけるよう努める。	25,000人
総合評価								S (35点)			

※「現状分析・課題」「取組改善案」は6-1～Ⅲから転記する。

※「H31目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

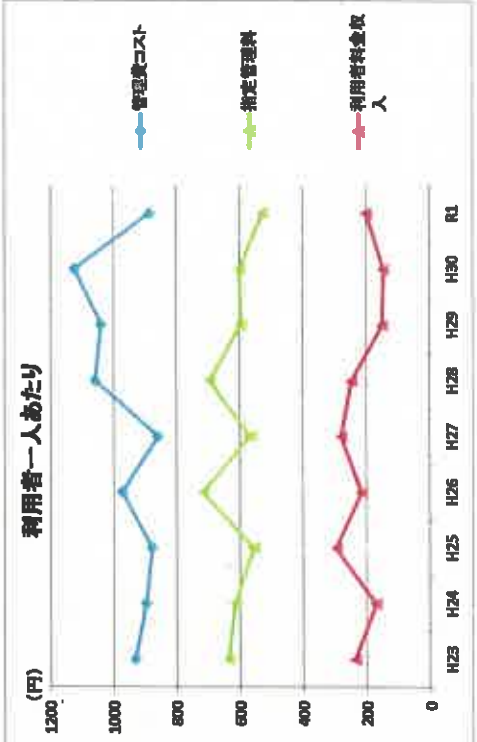
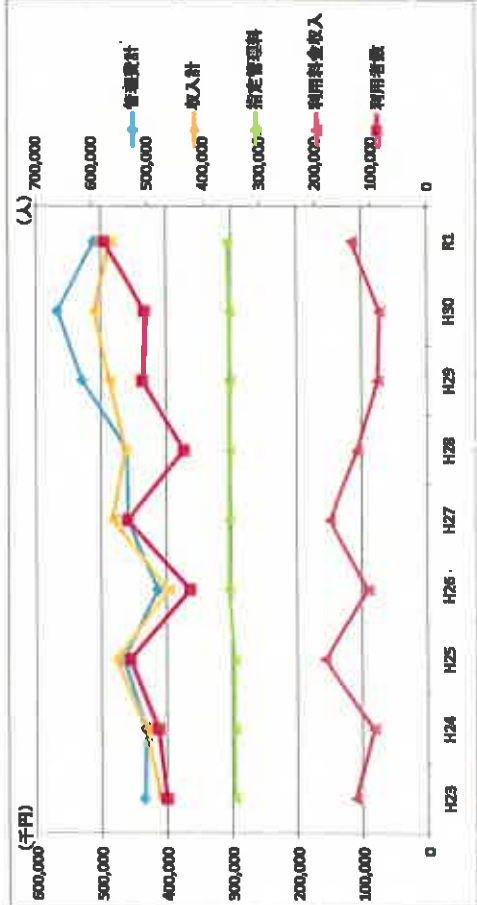
【総合評価基準】

	総合評価 (合計点数)
S	35点以上
A	20点以上
B	10点以上
C	9点以下

<各評価項目点数>

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

成果指標	指標		令和(第3期)指定管理											
	目標	実績	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1			
利用者数	人	422,254	457,038	480,000	483,181	488,806	351,824	485,317	484,122	504,245				
	人	465,049	481,373	531,344	424,802	535,994	435,936	508,822	504,894	577,528				
	%	110.3%	105.3%	110.7%	87.9%	109.7%	123.7%	104.3%	104.3%	114.5%				
	%	103%	103%	110%	80%	126%	81%	117%	96%	114%				
財務指標	千円	295,427	195,427	295,427	303,867	303,867	302,470	302,470	302,470	305,271				
	%	66.2%	63.4%	63.4%	66.2%	66.2%	67.3%	67.3%	66.7%	68.6%				
	千円	108,167	81,583	154,580	90,532	148,718	106,614	75,239	72,187	114,385				
	%	28.7%	19.9%	32.6%	22.5%	30.8%	23.0%	15.5%	14%	24%				
	千円	3,817	54,588	25,369	2,317	28,768	53,518	108,657	135,470	65,561				
	千円	408,401	431,578	477,382	386,718	482,373	482,902	488,365	510,136	485,197				
	千円	433,080	431,339	465,764	412,917	469,186	490,276	528,304	568,889	510,984				
	千円	-24,559	239	11,618	-16,201	23,187	2,326	-41,339	-66,763	-24,987				
	%	-0.7%	0.1%	2.4%	-4.1%	4.8%	0.5%	-8.6%	-11.1%	-5.1%				
	円	930	886	877	972	867	1058	1038	1123	883				
円	834	814	566	716	567	695	594	689	529					
円	234	169	295	213	277	246	148	143	198					



特記事項
 博物館設置、美術館コレクション展および施設使用料の料金改定を行い、合わせ
 て利用促進に努めた結果、利用者数収入が大きく増加した。一方で、光熱水費
 が依然として増加を続け、また2月以降は新型コロナウイルスの影響で自主企画展
 の中断を余儀なくされるなど収入面で打撃を受けた。
 観光客の訪客数が増加し、博物館観覧料収入、美術館観覧料収入ともに増加した
 が、光熱水費が高騰したこと、書籍展覧の高額な定期メンテナンスを実施したため
 委託費が上がったこと、買収の大型企画展が無く施設使用料収入が減少したこと
 により、収支差額が悪化した。
 指定管理者による自主企画展を4本開催したほか、大型買収展示会(テオ・ヤンセン
 展)があった。また開館10周年の広報宣伝やイベントを積極的に展開した結果、利
 用者数および収入、費用が増加した。
 今期指定管理業務の初年度であるため、指定管理者による自主企画展を行わ
 なかった。そのため利用者数および収入、費用が減少した。

目標設定の考え方
 指定管理最終年度であるR2年度の目標収入を630,233人と定め、指定
 管理5年間で段階的に達成に近づけるよう各年度目標を設定した。主要タ
 ーゲットを県民、県外・海外観光客、買収利用者として定め、それぞれに最適な施策
 を展開する。

別紙① 美ら島財団自主事業一覧

No.	事業名	事業内容	参加者数	実施時期												実施内容		
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
3	サマ展覧	沖縄県から最大数展覧した内容。沖縄県立博物館・美術館でもこの展覧が特別展として、さらさらサマの展覧を最大で開催。所蔵品が中心となって紹介し、サマへの理解を深める内容とした。	【入場者】 16,000人															
	① ふれあい水遊び 【無料】	沖縄県から最大数展覧した内容。沖縄県立博物館・美術館でもこの展覧が特別展として、さらさらサマの展覧を最大で開催。所蔵品が中心となって紹介し、サマへの理解を深める内容とした。	【参加者】 1200人				●											
	② サマの化石のレプリカづくり 【有料】2000円	ふれあい館の化石のレプリカづくりで、化石の複製品を展示した。化石の複製品を展示した。化石の複製品を展示した。化石の複製品を展示した。	【参加者】 48人				●											
	③ サマ博士の講演会 【無料】	沖縄県から最大数展覧した内容。沖縄県立博物館・美術館でもこの展覧が特別展として、さらさらサマの展覧を最大で開催。所蔵品が中心となって紹介し、サマへの理解を深める内容とした。	【参加者】 70人				●											
	④ サマの講演会 【無料】	沖縄県から最大数展覧した内容。沖縄県立博物館・美術館でもこの展覧が特別展として、さらさらサマの展覧を最大で開催。所蔵品が中心となって紹介し、サマへの理解を深める内容とした。	【参加者】 34人				●											
4	曾根崎遺跡発掘「在りし日の曾根崎浮きカキル貝」 【無料】	10月31日に発生した台風被害を受け、在りし日の曾根崎を伝える写真パネル展を開催した。曾根崎、島 屋三によって発掘された曾根崎遺跡の浮きカキル貝と、発掘された貝殻の写真を展示した。また、発掘された貝殻の写真を展示した。また、発掘された貝殻の写真を展示した。また、発掘された貝殻の写真を展示した。	【参加者】 4,071人														●	●
	① 曾根崎遺跡発掘「在りし日の曾根崎浮きカキル貝」 【無料】	10月31日に発生した台風被害を受け、在りし日の曾根崎を伝える写真パネル展を開催した。曾根崎、島 屋三によって発掘された曾根崎遺跡の浮きカキル貝と、発掘された貝殻の写真を展示した。また、発掘された貝殻の写真を展示した。また、発掘された貝殻の写真を展示した。また、発掘された貝殻の写真を展示した。	【参加者】 284人														●	●
5	みんこのレオレオニ(2/28~2/29までの実施)	【有料】15,000円	【参加者】 1,878人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 1,878人															●
	② 夜のおしゃべり 【無料】	夜のおしゃべり【無料】	【参加者】 1,878人															●
6	ふれあい水遊び 【有料】1,000円	ふれあい水遊び【有料】1,000円	【参加者】 912人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 912人															●
	② 夜のおしゃべり 【無料】	夜のおしゃべり【無料】	【参加者】 912人															●
7	ふれあい水遊び 【有料】1,000円	ふれあい水遊び【有料】1,000円	【参加者】 27人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 27人															●
8	おしゃべり(1~グループ1人) 【有料】1,000円	おしゃべり(1~グループ1人)【有料】1,000円	【参加者】 10人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 10人															●
9	おしゃべり(1~グループ1人) 【有料】1,000円	おしゃべり(1~グループ1人)【有料】1,000円	【参加者】 18人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 18人															●
10	ふれあい水遊び 【有料】1,000円	ふれあい水遊び【有料】1,000円	【参加者】 280人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 280人															●
11	ふれあい水遊び 【有料】1,000円	ふれあい水遊び【有料】1,000円	【参加者】 187人															●
	① 午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人) 【有料】10,000円(1~グループが必須)	午前中はおしゃべりOK(1~グループ1人)【有料】10,000円(1~グループが必須)	【参加者】 187人															●

日曜日に開催しているため、参加者が少ない。ターゲットの年齢層とそれに合わせた企画を実施する必要がある。

8.アンケート集計

令和元年度「総合アンケート」集計（集計期間：2019年4月～2020年3月）

（回収件数：2,443 単位：人）

問1 年齢										
①10歳未満	②10代	③20代	④30代	⑤40代	⑥50代	⑦60代	⑧70歳以上	無回答		
254	746	299	233	257	236	227	151	40		
問2 性別										
男性	女性	無回答								
964	1433	46								
問3 お住まい										
1459	825	159								
問4 職業										
				1059	373	87				
問5 誰と来館したか										
問6 来館時の交通機関										
94										
問7 何回目の来館？										
初めて	2回目	3回目	4回目	5回以上	無回答					
924	303	204	134	821	57					
問8 来館目的(複数回答)										
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他		
758	633	491	723	83	47	68	33	211		
問9 来館目的となった情報源(複数回答)										
①クチコミ(SNS等)	②テレビ	③ラジオ	④新聞	⑤雑誌	⑥チラシ・ポスター	⑦インターネット	⑧友人・知人	⑨職場	⑩その他	
200	448	54	103	71	425	378	345	52	448	
問10 来館目的以外に利用した施設(複数回答)										
①博物館常設展	②博物館企画・特別展	③美術館コレクション展	④美術館企画展	⑤ふれあい体験室	⑥講座室・講堂での催事	⑦県民ギャラリー	⑧情報センター	⑨その他		
425	283	301	206	200	67	103	85	148		

